



pskairb saumftdabab saumb battff dar ardasum umqtdar arand daftsb dapdaumsb  
プスクアイルブ(花名)の蓄は足元に小さな領域を作り跡継ぎとする。多く無くなるかは  
土の健闘いかんである。(枕詞の半行)  
色々小さくはない農地や土地ではあるがダフト国やダプダウム国であった。

batsb dafab daftsb aatsb sar aatqab daqtdasb daqb daqaumsb qaasb daqar  
ブアツ国は(世間の)広い人で、ダフト国・アアツ国のボスは幾らかの方向に奮い立ち、  
ダクトダ国を支配した。ダクアウム国・クアア国は自立地だった。

fdasb ftsb nadafaadafab aaqb daqb aasb daqtsb bqand aatb dasb sarb  
フダ国・フト国は、豊かでない他の遠い人の幾らかの地域を支配した。  
アア国・ダクト国は古いが人を増やして、ダ国は安全だった。

sbatb bqtttsb aattk aid bab nadaqatsb aatb nadaqar aatqab daqazi  
古い国のブクツツ国は幾らかの方法で助けた領土をナダファト国とした。  
人を増やし未自立地を振るわせて自立ができた。

nadaqaatsb daraumdasb daftsaum aafasb aaftb  
ナダクアアト国・ダラアウム国は貧しく集まった家で、アアフア国は合流した国だった。

fdaum qaasb daqtsb nadaqtsaum batsb daqtsaum batsb paasdaum daftb saumdar air  
良い家のクアア国・ダクト国は統治が無い指導者で、ブアツ国は統治の指導者だった。  
ブアツ国は交易が集まった家の豊かな国で指導者は農地を手入れした。

bfbatsb bbqtdasb dabqtttsb aatsb ftsb aafab dafazi dafbfand dafar  
ブフブアツト国・ブクトダ国・ダブクツツ国・アアツ国・フト国は合流し豊かになれた。  
豊かさは新しいが豊かな土地となった。

batfaatdasaak daaatsb daftdasb aatsb aadasb sand batdasb bqar aatg  
多くの大きくない出入りの船はダアアト国・ダフトダ国・アアト国・アアダ国の国土にあった。  
ブアツダ国では古い土地が外に加わった。

bfaasb daumdak and daqab  
ブフアア国は家が強くそして費用がいった。

far aadar ar aumsar aasb saumsar aatpb bfttsb kbpaatb paatsb bgdar  
良い土地は幾らかは農地で、土地が希望のボスはアア国だった。指導者やボスは流れ人を  
加えてブフツツ国とした。後の交易国のプアアト国で、霧の農地だった。

bbattb arair bfttb aatdasb arbatda nadasb aaqab aasb aadafb batfab  
人の多い国では農地を手入れし、新しくない国のアアトダ国では土地の多くが小さかった。  
ナダ国は人が去り、アア国では幾らか争は多くの遠い人だった。

bbatt qtsb sar aatb nadaftsb daqand aatsb fatb daftdaum dar and dasaid  
人の多くないクト国のボスは人を加えてナダフト国とし、成立したアアト国は遠い国だった。  
貧しい家の農地ではあるが出入りを助けた。

sbatsb ftsb qatsb aatqaatb sb qtdasb daftsb aattfazi daqtsar aziazi  
スプアツ国・フト国・クアト国は幾らか生まれた国を加えて、国をクトダ国、ダフト国にした。  
幾らかの集まりを豊かにでき統治のボスは次々に可能だった。

sbqttsaid aatsb daqttsb aatsum daumqtb aatqb aadaaum aatsb daftdardazi  
国が小さい集まりの長老はアアト国・ダクツツ国に指導者を増やし、家の小さな国には  
地域を加えた。他の希望はアアツ国の貧しい農地の仕事だった。

daftdas nadaumqttb qaumsb aab sardasb nadaqttb qdaum sarb fardak  
貧しい出入りで家がなく小さくない国のクアウム国は全てスアラダ国となった。  
管理のない国の小さな家だがボスは新しい土地を強くした。

daum tttk and daumdaand daftdak nadaqb aatb  
家は集める方向であった。そして家は小さくて大変貧しいが、支配がなく人が増えた。